

屬支那旅遣軍中將
所(血喪ノ大)

細部所遺
二行動遺

死亡推定
場所

湖南省長沙縣
長沙
塔橋氏名

二

一、生死不明となつた當時の状況

- 1. 追妻隊十五大隊は昭和十九年三月北滿チキハルで編成せられ四月初には湘桂作戦参加のため中支無湖に移動しその後湖南省の戦場へ強行軍を續けた。本名と部隊ともに行軍を續げ、昭和十九年六月十日夜長沙に到着したが同地にホソク生死不明となつたものである。
- 2. 当時湖南省一帯は米谷軍士の暴襲のために損害が續止しまた占領直後であつて治安が確せせず軍旅の数の行動者は收残兵等の襲撃を受け、三二がウクくない状態であつた。
- 3. 戦友 [] は本名にフソク部隊では長沙に滞在同ハソク調査したか不明であつた。おそろく疲勞と衰弱のため部隊に後れ收残兵が任氏に襲撃されたのではなかりかと思われれど証言している。

二、判決

以上よりあり下ありの本名は昭和十九年六月十日中支無湖に長沙附近にありて戦死したものと推定される。

昭和三十一年十二月十七日
厚生省引揚後護局本府邊調査部長

